

6月25日：専門家「VN指数は今週1,400ポイントの上値抵抗線を試す」

朝方、方向感がさえなかったVN指数は、午後の取引に銀行株の上昇を追い風に高値を更新した。証券会社のアナリストは「これはVN指数が1,400ポイントを試すことに追い風となるだろう」と話した。

今週、ホーチミン市場（HOSE）のVN指数は一進一退の不安定な動きを見せた。しかし、同指数は最終的に1,390.12ポイントの高値引けとなった。

ハノイ市場のHNX指数も318.22ポイントと高値で取引を終えた。

週間では、VN指数が+1.27%、HNX指数が+0.63%と共に上昇した。

「週末に見られた相場の強さは多くの資金をマーケットに導いた。上昇の勢いは強まり、VN指数は高値引けとなった」（MB証券）

「銀行、証券株など主力銘柄の株価回復により、VN指数は新たな上昇トレンドに入った」（同証券会社）

「テクニカル面で見ると、堅調な資金流入を背景にVN指数が高値更新したことは、引き続きマーケットが上昇トレンドである証拠だ。現在の上昇であれば、1,400ポイントの上値抵抗線を突き抜ける可能性がある」（同証券会社）

「VN指数は今後も引き続き上昇が予測される。だが1,400～1,420ポイント付近で利益確定売りが出る可能性があるため、上昇の勢いは落ちると考えられる」（ベトドラゴン証券）

同様に「現在、VN指数が目標株価の1,400ポイントを試す可能性はある。しかし、この1400ポイントを突破するには今の出来高では心許ない」（SSI証券のアナリスト）

その一方で「2週連続で上昇したにもかかわらず、前週と比べて上昇幅は鈍化した。同時に出来高も2週連続で減少した。しかしまだ直近の20週移動平均線は上回っており、マーケットから資金が流出したのではなく、ただ投資家が慎重になったことを示している」（サイゴンハノイ証券）

「テクニカル面で見ると、上昇トレンドにおけるVN指数の強力な上値抵抗線は1,400ポイント付近に現れるだろう。しかし出来高が減少していることから、買い需要はあまり強くなく、利益確定売りが増えればマーケットはいつでも反転する可能性がある」
(同証券会社)

「そのためVN指数は今週1,400ポイントまで上昇し、その付近で大きく変動する展開となりそうだ」 (同証券会社)

両市場（ホーチミン、ハノイ市場）の出来高は前週と比べて引き続き減少した。両市場の1日あたりの平均売買代金は23兆7,000億ドン（10億3,000万米ドル）だった。

ホーチミン市場の売買代金は13.1%減の約103兆8,000億ドン、売買高は11.4%減の34億株超だった。一方でハノイ市場の売買代金は31.2%減の14兆8,500億ドン、売買高は25.8%減の6億4,500万株だった。

堅調な業種の主力銘柄が買われ、マーケットは小幅に上昇した。業種別では公益株が+3.6%と上昇率トップ。ペトロベトナムガス（GAS）+5.7%、ファーライ火力発電（PPC）+4.4%、ペトロベトナム低圧ガス販売（PGD）+0.3%とそれぞれ値を上げた。

銀行株はそれに続いた。ヴィエティンバンク（CTG）+5.1%、アジアコマーシャル銀行（ACB）+3.9%、ベトコムバンク（VCB）+3.8%、軍隊商業銀行（MBB）+3.8%とそれぞれ上昇が目立った。

他にも石油ガス関連や情報技術関連に買いが入った。

その反面、素材関連は-1.4%と下落率でトップ。ホアセングループ（HSG）-6.5%、ホアファットグループ（HPG）-2.7%、ナムキム鉄鋼（NKG）-2.6%がそれぞれ売られた。

またVN指数が最高値を更新したにもかかわらず、外国人投資家は引き続き売り越した。売り越し額は1兆1,300億ドン、売買高で4,500万株以上となった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。